

令和8年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	学年	3年	類型	カレッジコース
教科書	Vivid English Communication Ⅲ (第一学習社)			副教材					

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1 学期	4						学習のねらい
		1 渡辺直美	句読法 意味のまとまり	◎	○		1学期は、句読法、意味のまとまり、つなぎの語句、指示語の内容について学習し、理解を深めます。また、単語集を利用した単語テストの実施により、語彙力の強化を図ります。 2学期は、主題文と支持文、パラグラフ間の関係、文修飾副詞について学習し、理解を深めます。 3学期は、名詞構文、対比や対照の表現について学習し、理解を深めていきます。
		1 クオッカ	クオッカの特徴と生態		◎	○	
	5	2 岡本太郎	指示語の指す内容	◎	○		
		2 ギタンジャリ・ラオ	解決してほしい問題	○		◎	
		3 黄金比	つなぎの語句(例示) 中間考査	◎	◎		
		3 エシカル消費	賢い消費者について		○	◎	
	6	4 オランウータンの学校	つなぎの語句(原因・結果)	◎	○		
		4 ラグビー日本代表	多様性について		◎	○	
		5 不老不死や長寿の実現について	つなぎの語句(対比・対照)	◎	○		
		5 「雪国」の原作と英訳	英語と日本語の表現の違い		◎	○	
	7		期末考査	◎	◎		学習の目標
		6 本田圭祐選手	つなぎの語句(列挙)	◎	○		幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てます。
		6 VR技術の応用	VR技術をどう使うか		○	◎	
2 学期	9	7 夢の実現	つなぎの語句(追加) 診断テスト	◎	◎		
		7 行動を変える仕掛け	日常生活でのちょっとした工夫		○	◎	
		8 「記憶の解凍」プロジェクト	主題文と支持文	◎	○		
		8 天然痘の根絶について	パンデミックに学ぶ		◎	○	
	10	9 デジタルデトックス	未知語の意味の類推	◎	○		評価の観点
			中間考査	◎	◎		知識・技能
		10 宇宙ゴミの問題	意見と事実の区別	◎	○		外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。
	11	10 異常気象の増加について	地球温暖化対策について		○	◎	
		11 No Rain, No Rainbow	段落間の関係(時間の順序)	◎	○		
			人生の分岐点について		◎	○	
			関係代名詞which	◎	○		
	12		今後していきたいことについて		○	◎	思考・判断・表現
		12 Natto Saves People in Need	段落間の関係(問題解決)	◎	○		外国語で情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
			期末考査	◎	◎		
			水質浄化剤の発明	◎	○		
			途上国支援の取組		○	◎	
3 学期	1						主体的に学習に取り組む態度
		13 Sazae-san and Machiko Hasegawa	サザエさんの人物像について		◎	○	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。
			分詞構文	◎	○		
			学年末考査	◎	◎		
	2		家庭学習				
			〃				
			〃				
			〃				
	3						備考

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【英語上達のポイント】

- 既習の内容を土台にして、新たな学習内容を身に付けていきます。
- 新出単語は範読をよく聞き、しっかり声に出して発音してください。
- 本文は意味の区切りを意識して、内容を考えながら発音することを心がけてください。
- 英文を英語のまま理解することを心がけましょう。内容が速く理解できます。
- 基本的な文法事項は確実に覚えてください。表現活動にも役立ちます。
- 各種検定に挑戦しましょう。普段の授業で力をつけ、自分の英語力を試してみましょう。

【授業】

- 週に4時間の授業があります。
- 各レッスンの授業の進め方は、だいたい次のようになります。
 - ①新出単語、本文の範読、読みを行います。
 - ②新出語彙、重要構文、文法事項、本文の内容を確認します。
 - ③練習問題、ワークを解きます。
 - ④週に1回、Weekly Testを行います。このテストは考査の範囲にも含まれます。
- 大きな声での音読や挙手など、積極的な授業態度で取り組んでください。
- 指示された課題を確実にやり、必ず予習をして授業に臨んでください。
- 板書やその他の重要事項をノートし、学習内容を明確に把握し、重要事項の定着を図ってください。

【家庭学習】

- その日のうちに授業の復習をし、授業内容を定着させてください。
- 次回学習するLessonの単語の発音・意味と和訳を必ずしておきましょう。
- 課題テスト、小テストについて、テスト対策の学習を計画的に行ってください。
- 学習した範囲の音読もしながら、予習・復習していきましょう。

【定期考査】

- 授業で学習した内容が基本になります。
- 本文の内容把握、重要構文、新出語彙などを再確認しましょう。
- 目標を定めて定期考査に臨みましょう。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度の三観点から評価します。出席状況、授業態度、ノートの整理状況、課題の提出状況、課題テスト、小テスト、定期考査をもとに総合的に評価します。	
評価の基準	1 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	2 学 期	中間考査、期末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	3 学 期	学年末考査(主に①②の観点から評価します。) 出席状況及び学習意欲(主に③の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) Weekly Test、課題提出状況(主に①と③の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均